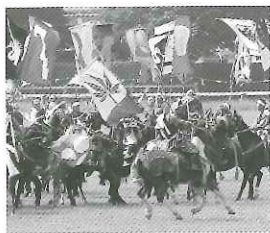


【相双コース】



「みんなで考えよう!!地域医療のこと」

～相双地域の“今”を見て！聴いて！

感じて！ください～



【期日】 平成26年3月6日(木)～7日(金) 1泊2日



研修の概要

○ 研修の趣旨

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域における医療の現状について、医療機関や被災地の視察等を通して、理解を深めていただきます。

○ 主な研修の内容

● 地域医療現場の訪問

富岡町大玉仮設診療所、南相馬市立総合病院及び渡辺病院において、震災直後から現在に至るまでの、被災地における医療の現状と課題等について学びます。

※ 富岡町大玉仮設診療所は、大玉村にある富岡町の仮設住宅の一角に平成23年8月に開設され、町の避難者の健康を守り続けています。

※ 南相馬市立総合病院は、相双地区の中核病院として、地域住民の健康を守り続けています。

※ 渡辺病院は、震災以降、医療従事者の不足等により入院病棟を閉鎖し、外来に限り診療を続け地域医療を守り続けています。なお、平成26年3月には新地町に新築移転を予定しています。

● 医療従事者との懇談

医師等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

● 被災地視察

東日本大震災被災地の視察を通して、被災地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



医療機関視察



医療従事者との懇談



被災住民との交流



津波被災地視察

アピールポイント

- 1 震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学んでいただきます。
- 2 沿岸部の津波被災地域を視察し、復興の現状を知ることができます。
- 3 相双地域のいちごや水産物など旬の味覚を堪能していただけます。

地域医療体験研修参加者の声



今回の研修では、テレビで見た映像や、新聞で読んだ記事だけでは分からない、生の現場を体感できました。地域医療に対して淋しく暗いイメージを持っていましたが、今回訪れた病院や診療所の医師や住民の方々は、皆苦勞しながらも充実しているように見えました。地域医療に対する理解が深まった一方で、新しい疑問も生まれたので、今後もこのような機会があれば参加したいと思います。

公立相馬総合病院では熊先生からお話を伺いました。先生の「せっかく医師として働くならば、自分が求められているところで働くのがいい。」というお言葉が印象的でした。

相双地区は深刻な医師不足に見舞われており、仕事はとても大変だと思います。しかし、そのような地域だからこそ、患者さんは医師のことをとても慕ってくれ、やりがいも非常に大きいと先生は話してくださいました。先生がとても輝いて見えました。私も将来、地域に根ざして、患者さんに慕われる医師になりたいと強く思いました。

ほかにもこの研修を通して多くのことを学びました、普段の座学では決して学ぶことができないことばかりで見聞が大いに広がりました。皆さん、是非、地域医療体験研修に参加してみてください。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月6日(木)	9:45 JR福島駅西口発 10:15 福島県立医科大学発 11:00~12:00 富岡町大玉仮設診療所視察 14:00~14:45 オリエンテーション 15:00~17:00 南相馬市立総合病院視察 18:30~21:00 医療従事者との懇談・夕食	朝(×) 昼(○) 夜(○)	南相馬市内 ホテル泊
3月7日(金)	8:50~9:10 南相馬市内(被災地)の視察 10:00~10:40 和田観光いちご農園 (いちご狩り体験) 11:00~12:00 渡辺病院視察 15:00 JR福島駅西口着 15:30 福島県立医科大学着	朝(○) 昼(○)	